



西部メディカルセンターは、救急や急性期の入院患者の診療にパワーを注ぐため、  
外来は**紹介状持参の方を中心に**診療します。**2人主治医制**を推進していきます。

体に不調を感じた時、  
まずは  
かかりつけ医(地域の開業医など)を受診しましょう。  
必要に応じて、西部メディカルなどを紹介してくれます。

\*一刻を争うような状態の時は救急車を呼びましょう

体に不調を感じたら・・・

かかりつけ医へ

紹介状

西部メディカルセンター



### \*どうして紹介状が必要なの？

「安心だから」などの理由で、ごく軽い風邪などの症状でも大きな病院にかかってみたいという方もいます。しかしそれでは、「救急患者を1人でも多く受け入れる」「診断、治療が急がれる急性期の入院患者を受け入れる」という、西部メディカル本来の機能を十分に発揮することができなくなってしまいます。

ここで少し考えてみてください。皆さんやご家族が、救急車で西部メディカルに運ばれたとしましょう。その時、医師たちが外来患者の診療に追われ、救急車をスムーズに受け入れることができなかつたら、どう思われますか？

医師などの医療スタッフの数は限られています。西部メディカルは、救急や急性期の入院患者の診療によりパワーを注ぎたいと考えています。そのため、軽い症状の時は、まずは地域のかかりつけ医を受診していただき、外来は紹介状をお持ちの方を中心に診察させていただきたいと思えます。

ご理解とご協力をお願いいたします。



### \*紹介状がないと受診できないの？

紹介状がない方でも受診はできますが、初診料とは別に選定療養費2,160円(税込)をお支払いただくことになります。選定療養費とは、病院と診療所の機能分担の推進を図るために国が定めた制度で、紹介状なしに200床以上の病院を受診した場合に、病院が定めた金額をご負担いただくというものです。

### \*「2人主治医制」を積極的に進めます

「2人主治医制」とは、患者さん1人に対し、かかりつけ医が「第1の主治医」、西部メディカルの医師が「第2の主治医」として、医師同士が互いに連携しながら、共同で継続的に治療を行うことです。

普段は、かかりつけ医に健康の相談や病気の診断、治療を受けていただき、入院や専門の検査、治療が必要になった場合は、かかりつけ医の紹介状をもって、西部メディカルを受診していただきます。主治医同士の連携により、患者さんは不要な検査や投薬を受けずに済み、迅速かつ適切な治療を受けることができます。

西部メディカルで治療を受け、病状が安定した患者さんには、担当医の判断のもと、かかりつけ医へ紹介させていただきます。

「2人主治医制」により、西部メディカルとかかりつけ医で治療に関する情報交換をすることで、患者さんは2人の医師に診てもらえるのでより安心です。

